



救出活動は安全第一！落ち着いて行動しましょう

災害の備えを万全に！（鳴子温泉）

8月10日、鳴子温泉地域の川渡温泉駅前前で総合防災訓練が開催されました。宮城県沖を震源地とする震度6弱の地震が発生したことを想定し、水バケツリレーや消火器による初期消火訓練、応急救護や倒壊家屋救出訓練などが行われ、約300人の参加者の皆さんは真剣に取り組んでいました。煙が充満した「煙中体験ハウス」の中を歩く濃煙体験では、「煙の中は何も見えなくて怖いね」「この体験をしないで実際に災害が起こったら、慌てていたかも」と、参加者は本番さながらの体験で、訓練の大切さを実感していました。



「シナイモツゴ郷の米」今秋デビューに向け戦略が練られます

環境はシナイモツゴのお墨付き（鹿島台）

希少魚シナイモツゴを守り、ヒシの栽培など里山と故郷の自然を守る活動をしている「NPO法人シナイモツゴ郷の会」が、今秋の「シナイモツゴ郷の米」認証に向けての説明会を開きました。シナイモツゴが生息するため池の安心で安全な水を利用し、減農薬などの環境保全型農業で作った米を同会が認証することで、米の付加価値を高め、環境保全と農業再生を両立させようというものです。山谷、深谷、広長の3地区で開催された説明会では、地域の目玉となる取り組みにしようと、熱心に話し合いが行われました。

8月7日から9日までの3日間、三本木地域の児童15人が横浜市港南区を訪問し、区内の児童20人と「ひまわり生活体験交流」が実施されました。三本木地域と横浜市港南区では、ひまわりが取り持つ縁で昭和63年からさまざまな分野で交流を行っています。今回は、横浜市海事広報艇「はまどり」に乗船したり、八景島シーパラダイスの見学、自然海岸「野島」で海の生物を調査するなど、子どもたちは体験学習や集団生活を通して交流を深め、夏休みの思い出をたくさんつくりました。

共に学んで友達が増えました（三本木）



八景島シーパラダイスでの1コマ。みんな楽しそうです

8月2日、夏休みの恒例事業となっている松山放課後児童クラブ親の会が主催する流しそうめん大会が、松山幼稚園で行われました。趣のある竹のセットに子どもたちは興味津々で、そうめんが流れ始めると竹の両側にずらりと並び、竹の中を勢いよく流れてくるそうめんをうまく取ったり、取り損ねたりするたびに一喜一憂しながら匂の味を楽しみました。また、松山地域のボランティア団体「結いの会」に協力していただき、ダンボールを使っての竹とんぼの作り方を教わって、みんなで竹とんぼを楽しみました。

みんな、うまく取れたかな？（松山）



流れるそうめんをナイスキャッチ！



戦没者に黙とうを捧げます

戦争がなくなることを願って（古川）

8月15日の終戦記念日、古川地域の吉野作造記念館前広場で「平和のつどい」が開催されました。正午、公園内にある「民本の鐘」を合図に戦争の犠牲者へ1分間の黙とうをささげ、昭和60年6月に旧古川市議会が宣言した「核兵器廃絶・平和のまち古川市宣言」を参加者で読み上げました。その後、昨年度の市内小中学生平和作文コンクール最優秀賞を受賞した西古川小学校6年の佐々木志穂さんと仙台育英学園高校1年の田中志歩さんの平和作文朗読などが行われ、参加者全員で戦争について考え、平和を誓いました。



お腹いっぱいザリガニを食べました

おいしい！田んぼのロブスター（田尻）

8月4日、田尻地域のメダカの郷で「ザリガニを食べて減らす会」が開催されました。田んぼに穴をあけ、害を及ぼすザリガニを食べて減らそうと、メダカおじさんの愛称で親しまれている高橋孝憲さんが企画しました。市内だけでなく東松島市や仙台市から足を運んだ人もいて、会場ではしっぽやザリガニ二匹の素揚げ、天井などが振る舞われました。「何のクセもなくおいしい」「エビと同じような味だ」「ピールのつまみに合いそうだね」と参加者の皆さんはザリガニの味を堪能していました。



民泊先のため池で釣りに挑戦



「小さいカエル、かわいいよ！」

大 夏休み！田舎体験inいわてやま 大崎のユートピアで田舎体験（岩出山）

岩出山地域真山地区で、「夏休み！田舎体験inいわてやま」が7月27日から29日の2泊3日で開催されました。東京都江東区の小学4～6年生の児童37人が参加し、真山地区内の協力家庭に民泊しながら、畑での収穫体験や川遊び、まゆ細工や竹細工、昆虫採集など真山ならではの田舎生活を体験しました。中には毎年参加し、同じ家に民泊する児童もいて「よく来たね。大きくなったね」など、まるで祖父母の家に帰ってくるかのような児童もいました。また、今年は古川第4小学校の児童10人も参加し、共に貴重な夏休みの思い出をつくりました。

今年で8回目となるこの事業は、「農村と都市交流事業」として、まやま地域づくり委員会および地区コミュニティ推進協議会、学校、地域住民など地域が一体となって開催したもので、体験学習の先生や生活指導のスタッフもすべて地域の人たちで構成しています。

すばらしい自然とあたたかな人たちの中で過ごした3日間は、きついつまでも大切な思い出としてみんなの心に残ることでしょ。